

風をいたみ岩より波の

おのれのみくだけて物を

思ふよらかな

中一二三

風が激しいので、岩に打ちつける波が、自分だけで砕け散るようになり、恋しく思う人は相手にしてくれないで、自分一人だけで千々に心が砕けてもの思いをする頃よ。

源 重之（四十八番）